

三芳町地域公共交通計画策定方針(案)

1 趣旨

町には、乗合の公共交通機関として民間路線バスが運行されてきた。過去には、広域をつなぐ路線も存在したが、現在は、3者による路線が残り、交通空白地域を低減させるため、町が要望した特定路線に対して、補助金を交付して路線を維持している。

全国的には、2024年問題として、運送業における人材確保が大きな課題となっている。都市部や周辺地域でも減便や廃止となる路線が出てきており、路線維持を取り巻く社会情勢は厳しさを増している。

また、高齢化が進む社会において、車社会からの転換やバス停までの距離など、様々な視点から交通ネットワークを考慮していかなければならない。町では、デマンド交通の実証実験や民間主導による Maas の実証実験など、持続可能な交通ネットワークの構築に向けた研究を進めてきた。そして、公共交通利用補助制度により、交通機関の利用が困難となる高齢者の移動を支援してきた。

このような背景を踏まえ、将来的な公共交通システムのビジョンを描くとともに、短期、中長期的な視点による段階的な施策を設定するため、地域公共交通計画を策定する。

2 対象期間

令和7年度から令和11年度まで(5か年)

3 基本的な考え方

○誰もが移動しやすい交通環境の実現

高齢化社会における移動の確保

生活や目的に合わせた移動手段の拡充

利用しやすい公共交通の推進

○地域拠点をつなぐ住みよいまちづくり

地域拠点が利用しやすい暮らしの実現

コンパクトシティを実現する交通網

新たな拠点整備における交通の役割

○まちづくりと連携した地域の魅力向上

まちづくりの効果を引き出す移動基盤

多様な交流機会の創出

地域の特色を活かす交通手段